事務事業チェックシート

事務事業No	事業名
971	**観光基盤整備事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	4	観光の稼ぐ力の強化
施　策	1	観光客受入体制の整備
取組方針	2	観光基盤の充実

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	観光基盤整備事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	観光課	坂東　伸哉	435-1234
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	訪れた人が、安全・安心で快適な観光施設の整備を進め、おもてなしの向上を図る。	観光客受入体制整備の一つとして観光施設等を整備し、観光地としての魅力向上と、観光客の満足度を上げ、観光客数の増加につなげる。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	○友ヶ島野奈浦桟橋の整備 ○雑賀崎灯台外壁改修工事	観光案内板、友ヶ島、わかちか広場の整備等	観光案内板、友ヶ島、わかちか広場の整備等	観光案内板、友ヶ島、わかちか広場の整備等	観光案内板、友ヶ島、わかちか広場の整備等

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		568,947	220,000	14,228	377,700	0	25,065	0	0	0	0
伸び率（%）		0%	115.2%	△97.5%	71.7%	△100%	△93.4%	0%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	11,533	12,078	13,881	13,803	14,090	15,602	0	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	330	0	0	0	0
	小計	11,533	12,078	13,881	13,803	14,090	15,932	0	0	0	0
国庫支出金		111,091	0	0	117,592	0	5,499	0	0	0	0
県支出金		0	0	1,311	897	0	0	0	0	0	0
市　債		457,800	162,800	0	202,600	0	18,900	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		56	57,200	12,917	56,611	0	666	0	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	1.48	1.55	1.78	1.77	1.77	1.96	0.00	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳											

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	観光案内板、雑賀崎灯台周辺の整備、和歌浦観光遊歩道の整備、友ヶ島砲台跡の整備	件	目標値	2	6	2	0	
			実績値	0	5	2		
			達成度(%)	0%	83.3%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	年間観光客数（暦年）	千人	目標値	7,120	7,150	7,180	7,210	
			実績値	6,279	6,151	6,524		
			達成度(%)	88.2%	86%	90.9%	%	%
	友ヶ島来島者数	人	目標値	86,320	90,000	90,000	90,000	
			実績値	48,951	48,566	46,069		
			達成度(%)	56.7%	53.7%	51.2%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
充実				○
現状維持				
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性			

担当課評価の根拠	インバウンドを含む多くの観光客が安心して訪れ、快適に楽しんでもらえるよう、安全性だけでなく利便性や魅力向上を見据えた受入環境の整備を進める必要がある。
見直し・改善内容	快適で安全な観光地づくりを実現するため、今後更なる増加が見込まれるインバウンドにも対応した観光客の受入環境の整備や、各ターゲットに向けた新たな魅力作りに向けた準備に取り組んでいく。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

979　**観光案内事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	4	観光の稼ぐ力の強化
施　策	1	観光客受入体制の整備
取組方針	2	観光基盤の充実

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	観光案内事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	観光課	坂東　伸哉	435-1234
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	観光客をスムーズに目的観光地へ案内したり、和歌山市の魅力ある観光スポットを紹介できるようにする。	ＪＲ和歌山駅・南海和歌山市駅・和歌山城にある観光案内所の運営、まちなか観光案内所の運営を行うことで、観光客の市内周遊や長期滞在を促進する。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	ＪＲ和歌山駅・和歌山城にある観光案内所の運営、まちなか観光案内所の運営	ＪＲ和歌山駅・和歌山城にある観光案内所の運営、まちなか観光案内所の運営	ＪＲ和歌山駅・和歌山城にある観光案内所の運営、まちなか観光案内所の運営	ＪＲ和歌山駅・和歌山城にある観光案内所の運営、まちなか観光案内所の運営	ＪＲ和歌山駅・和歌山城にある観光案内所の運営、まちなか観光案内所の運営

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		7,654	7,654	8,585	8,585	11,579	11,579	12,364	0	0	0
伸び率（%）		1.2%	1.2%	12.2%	12.2%	34.9%	34.9%	6.8%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	1,403	1,481	1,560	1,716	1,752	1,911	2,070	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1,403	1,481	1,560	1,716	1,752	1,911	2,070	0	0	0
国庫支出金		3,827	3,827	4,292	4,292	5,789	5,789	6,182	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		3,827	3,827	4,293	4,293	5,790	5,790	6,182	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.18	0.19	0.20	0.22	0.22	0.24	0.26	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		観光案内業務委託料１１，５７９千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	観光案内所数	箇所	目標値	2	2	2	2	
			実績値	2	2	2		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	年間観光客数（暦年）	千人	目標値	7,120	7,150	7,180	7,210	
			実績値	6,279	6,152	6,524		
			達成度(%)	88.2%	86.1%	90.9%	%	%
	観光案内所での案内件数（暦年）	人	目標値	75,000	75,000	75,000	75,000	
			実績値	12,916	15,318	34,058		
			達成度(%)	17.2%	20.5%	45.4%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	コスト投入の方向性			
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
充実				○
現状維持				
縮小				
廃止				

担当課評価の根拠	令和７年度は観光入込客数の増加に伴い、観光案内所での案内件数も増加した。とりわけ、JR駅構内での案内対応を開始したことが、利用件数の伸びに寄与していると考えられる。令和８年度は、大河ドラマに関連したスタンプラリーの開催など、来訪者の関心を高める取組が予定されている。これらの機会を捉え、来訪者の満足度向上を図るため、誰もが利用しやすい案内所として、機能の一層の充実を進めていく。
見直し・改善内容	本市を高野山や世界遺産観光の玄関口とする「観光ゲートウェイ化」を推進するにあたり、観光案内の充実や、観光案内所における外国人観光客への対応強化を図る。また、地域活性化起業人によるマーケティング、学生との協働、DXの推進など、多様な主体との連携を踏まえ、受入体制の強化に努める。

事務事業チェックシート

事務事業No　274　　事業名　**友ヶ島管理事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	4	観光の稼ぐ力の強化
施　策	1	観光客受入体制の整備
取組方針	3	観光資源の魅力向上

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	友ヶ島管理事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	観光課	坂東　伸哉	435-1234
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	来島者への安全・安心・快適な島内環境づくりを図っていく。	瀬戸内海国立公園指定の友ヶ島の維持管理を行い、来島者数の増加及び満足度の向上につなげる。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	島内バイオトイレの維持管理、島内各施設の維持管理、松くい虫の予防、友ヶ島の清掃・維持管理の委託	島内バイオトイレの維持管理、島内各施設の維持管理、松くい虫の予防、友ヶ島の清掃・維持管理の委託	島内バイオトイレの維持管理、島内各施設の維持管理、松くい虫の予防、友ヶ島の清掃・維持管理の委託	島内バイオトイレの維持管理、島内各施設の維持管理、松くい虫の予防、友ヶ島の清掃・維持管理の委託	島内バイオトイレの維持管理、島内各施設の維持管理、松くい虫の予防、友ヶ島の清掃・維持管理の委託

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		25,854	24,969	24,631	23,920	23,197	22,632	23,146	0	0	0
伸び率（%）		3%	8.2%	△4.7%	△4.2%	△5.8%	△5.4%	△0.2%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	11,533	12,078	12,399	13,803	14,090	15,602	16,239	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	254	474	0	0	0	0
	小計	11,533	12,078	12,399	13,803	14,344	16,076	16,239	0	0	0
国庫支出金		7,607	7,607	7,607	7,606	7,607	7,607	0	0	0	0
県支出金		1,702	1,702	955	904	1,451	926	1,360	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		637	637	637	882	1,210	1,266	1,167	0	0	0
一般財源（税等）		15,908	15,023	15,432	14,528	12,929	12,833	20,619	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	1.48	1.55	1.59	1.77	1.77	1.96	2.04	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.22	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		管理委託料１６，５１７千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	観光パンフレット配布数	枚	目標値	90,000	90,000	90,000	90,000	
			実績値	50,000	34,300	41,700		
			達成度(%)	55.6%	38%	46.3%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	友ヶ島来客数	人	目標値	86,320	90,000	90,000	90,000	
			実績値	48,951	48,566	46,069		
			達成度(%)	56.7%	53.7%	51.2%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	コスト投入の方向性			
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
充実				○
現状維持				
縮小				
廃止				

担当課評価の根拠	友ヶ島は瀬戸内海国立公園の一部であり、自然が多く残る無人島で、そこが魅力の観光地であるが、それが故に、倒木や落石、散策路面の劣化、施設の老朽化など、来島者を受け入れる体制として、改善していかなければならない問題点も多く、敷地面積が広大なことから、管理委託や修繕の範囲では追い付かなくなっている実情がある。
見直し・改善内容	受入体制として、管理上問題となっている課題を整理し、計画的に改善を行う。 また、必要な予算措置を講じ、来島者が安心して快適に観光を楽しめるよう環境整備を進めていく。 それに加え、近年、台風や豪雨等による被害が増加しているため、災害対策及び被災後の安全管理体制の強化を図り、安定した受入ができるよう体制を整えていく。

事務事業チェックシート

事務事業No　795　　事業名　**観光施設管理事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	4	観光の稼ぐ力の強化
施　策	1	観光客受入体制の整備
取組方針	3	観光資源の魅力向上

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	観光施設管理事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	観光課	坂東　伸哉	435-1234
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	観光施設の維持管理を行い、観光客の受入体制を整備することで利用者（来訪者）の増加を図る。	観光施設の維持管理を行い、観光客の受入体制の整備を図る。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	観光施設の維持管理（市営片男波海水浴場駐車場、和歌浦観光遊歩道路、雑賀崎観光灯台、わかちか広場等）	観光施設の維持管理（市営片男波海水浴場駐車場、和歌浦観光遊歩道路、雑賀崎観光灯台、わかちか広場等）	観光施設の維持管理（市営片男波海水浴場駐車場、和歌浦観光遊歩道路、雑賀崎観光灯台、わかちか広場等）	観光施設の維持管理（市営片男波海水浴場駐車場、和歌浦観光遊歩道路、雑賀崎観光灯台、わかちか広場等）	観光施設の維持管理（市営片男波海水浴場駐車場、和歌浦観光遊歩道路、雑賀崎観光灯台、わかちか広場等）

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		24,756	24,937	25,322	23,085	27,902	26,352	32,065	0	0	0
伸び率（%）		3.2%	△24.8%	2.3%	△7.4%	10.2%	14.2%	14.9%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	8,650	9,039	7,721	10,372	10,587	11,702	12,179	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	2,181	558	0	0	0	0
	小計	8,650	9,039	7,721	10,372	12,768	12,260	12,179	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	67	47	95	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		6,091	0	6,162	6,294	6,323	7,115	5,770	0	0	0
一般財源（税等）		18,665	24,937	19,160	16,791	21,512	19,190	26,200	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	1.11	1.16	0.99	1.33	1.33	1.47	1.53	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.86	0.22	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		管理委託料１２，４３０千円、駐車場管理運営委託料５，７６４千円、光熱水費３，１７１千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	市営片男波海水浴場駐車場利用台数	台	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	
			実績値	11,588	11516	13,864		
			達成度(%)	57.9%	57.6%	69.3%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	片男波海水浴場利用者数	人	目標値	250,000	250,000	250,000	250,000	
			実績値	147781	146160	171,490		
			達成度(%)	59.1%	58.5%	68.6%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
充実				○
現状維持				
縮小				
廃止				

コスト投入の方向性

担当課評価の根拠	現在、管理している施設は、設置から長い年月が経過し、耐用年数を超えているものも多く、年々修繕案件が増えているが、予算上の制約から全てを修繕するのは難しく、老朽化が進んでいても修繕が後回しになっている場合がある。 観光施設の老朽化は、機能不全に加え、観光地としてのイメージダウンにもつながることから、コストを投入して、受入環境を整える必要がある。
見直し・改善内容	観光客が安心してかつ快適に楽しんでいただけるよう、必要な維持修繕を行うとともに、観光地としてのイメージアップを考え、適切な維持管理を行っていく。

事務事業チェックシート

事務事業No　20483　　事業名　**和歌山城公園施設整備事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	4	観光の稼ぐ力の強化
施　策	1	観光客受入体制の整備
取組方針	3	観光資源の魅力向上

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	和歌山城公園管理費		
	大事業	和歌山城公園管理事業		
	中事業	和歌山城公園施設整備事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	和歌山城整備企画課	南　秀樹	435-1044
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	和歌山城公園・岡公園の各施設の修繕・工事・業務委託等により整備を図り、来園者に安全で快適な環境づくりを行う。	和歌山城公園・岡公園の施設整備、充実に要する経費

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	老朽化した施設・道具等の修繕・整備工事等を行う。工事完成後は、施工業者から提出される報告書を基に、担当者が現場確認を行っている。	老朽化した施設・道具等の修繕・整備工事等を行う。工事完成後は、施工業者から提出される報告書を基に、担当者が現場確認を行っている。	老朽化した施設・道具等の修繕・整備工事等を行う。工事完成後は、施工業者から提出される報告書を基に、担当者が現場確認を行っている。	老朽化した施設・道具等の修繕・整備工事等を行う。工事完成後は、施工業者から提出される報告書を基に、担当者が現場確認を行っている。	老朽化した施設・道具等の修繕・整備工事等を行う。工事完成後は、施工業者から提出される報告書を基に、担当者が現場確認を行っている。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		39,924	33,879	11,150	9,478	10,581	9,960	6,838	0	6,838	0
伸び率（%）		274.5%	209.4%	△72.1%	△72%	△5.1%	5.1%	△35.4%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	16,520	16,208	16,220	19,807	20,219	20,378	19,821	0	0	0
	正規職員以外	4,842	4,796	4,862	1,202	1,572	1,648	1,648	0	0	0
	小計	21,362	21,004	21,082	21,009	21,791	22,026	21,469	0	0	0
国庫支出金		11,124	8,925	0	0	1,516	1,453	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	1,300	1,300	0	0	0	0
そ の 他		0	57	0	39	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		28,800	24,897	11,150	9,439	7,765	7,207	6,838	0	6,838	0
所要人数（人）	正規職員	2.12	2.08	2.08	2.54	2.54	2.56	2.49	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	1.28	1.26	1.26	0.53	0.62	0.65	0.65	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		所々修繕料（６，５５９千円）、設計委託料（２，９０７千円）　等									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	公園内修繕件数	件	目標値					
			実績値	25	25	23		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
	整備（工事）件数	件	目標値	0	1	0	0	
			実績値	0	1	0		
			達成度(%)	%	100%	%	%	%
成果指標	天守閣の入場者数	人	目標値	336,000	223,750	232,500	241,250	
			実績値	214,141	232,874	267,087		
			達成度(%)	64%	104%	115%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	和歌山城公園は多くの方が訪れる都市公園であり、来園者の利便性の向上や安全性の確保等に努める必要がある一方で、和歌山城は国史跡に指定されており、大幅な現状変更や景観の改変は原則として認められないため、事業にあたっては文化財保護との調和を図りながら慎重に進める必要があると考えられるため、現状維持とした。
見直し・改善内容	和歌山城は貴重な文化財であるが、単なる保存にとどまらず、多様化する市民ニーズに応えるためにもできるだけ有効に活用することを念頭に、事業を進めたいと考えている。

事務事業チェックシート

事務事業No　13724　　事業名　観光情報発信事業

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	4	観光の稼ぐ力の強化
施　策	2	観光客の誘致
取組方針	1	ターゲットを絞った積極的な観光情報の発信

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	観光情報発信事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	観光課	坂東　伸哉	435-1234
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)	全体事業概要
事業目的	観光情報を様々な手法により発信することで、観光客の誘致を図る。	パンフレット、ポスター、ホームページ等の充実に努めることにより、効果的な観光情報発信を行う。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	パンフレット、ポスター、ホームページ、広報用グッズ製作	パンフレット、ポスター、ホームページ、広報用グッズ製作	パンフレット、ポスター、ホームページ、広報用グッズ製作	パンフレット、ポスター、ホームページ、広報用グッズ製作	パンフレット、ポスター、ホームページ、広報用グッズ製作

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		8,187	8,058	12,752	22,864	14,247	11,979	11,889	0	0	0
伸び率（%）		△4.1%	0.4%	55.8%	183.7%	11.7%	△47.6%	△16.6%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	7,169	7,559	7,721	8,578	8,756	9,712	22,368	0	0	0
	正規職員以外	749	749	749	341	0	127	0	0	0	0
	小計	7,918	8,308	8,470	8,919	8,756	9,839	22,368	0	0	0
国庫支出金		3,532	3,750	5,811	9,358	6,522	5,943	5,529	0	0	0
県支出金		0	0	0	1,266	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		4,655	4,308	6,941	12,240	7,725	6,036	6,360	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.92	0.97	0.99	1.10	1.10	1.22	2.81	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.33	0.33	0.33	0.15	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		印刷製本費　８，７６１千円、業務委託料　４，１８８千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	パンフレット配布数	枚	目標値	300,000	300,000	300,000	300,000	
			実績値	146,860	194,500	262,800		
			達成度(%)	49.0%	64.8%	87.6%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	年間宿泊者数（暦年）	万人	目標値	107	108	109	111	
			実績値	99	101	109.5		
			達成度(%)	92.5%	93.5%	100.5%	%	%
	年間観光客数（暦年）	千人	目標値	7,120	7,150	7,180	7210	
			実績値	6,279	6,151	6,524		
			達成度(%)	88.2%	86%	305.2%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				○
現状維持				
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	本市が有する多彩な観光の魅力を市外にPRするためには、観光パンフレットやSNS発信、ウェブ等による効果的な情報発信が不可欠である。Instagramを活用したフォロワー獲得施策により、令和７年４月当初は約６，９００人であったフォロワー数が１年間で約１１，０００人に増加し、効果的な情報発信ツールへと成長している。また、令和７年度に実施した香港向けSNS広告では、香港在住者約１１万人（ユニークユーザー）にリーチし、動画再生数も約１００万回を記録するなど、広範な層への訴求を通じて、和歌山市の認知向上につながった。今後も、イベント等を通じたフォロワー獲得を継続するとともに、より効果的なPRができるよう情報発信の充実に取り組んでいく。
見直し・改善内容	情報発信については、ターゲットに応じた媒体や発信内容の見直しを行う。また、令和８年度も引き続き、海外向け広告SNS広告を活用し、認知から実際の行動につながる施策を検討・実施していく。

事務事業チェックシート

事務事業No　1175　　事業名　**広域観光連携事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	4	観光の稼ぐ力の強化
施　策	2	観光客の誘致
取組方針	2	外国人観光客の誘致促進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	広域観光連携事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	観光課	坂東　伸哉	435-1234
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	海外からの観光客誘致を図るとともに、広域的な観光地としての魅力向上を図る。	周辺市町村を含めた広域的な観光地としての魅力を向上させるため、各種団体との連携を行う。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	日本遺産活用推進協議会との連携、関西国際空港内観光案内所の運営、和みわかやまキャンペーンとの連携等	日本遺産活用推進協議会との連携、関西国際空港内観光案内所の運営、和みわかやまキャンペーンとの連携等	日本遺産活用推進協議会との連携、関西国際空港内観光案内所の運営、和みわかやまキャンペーンとの連携等	日本遺産活用推進協議会との連携、関西国際空港内観光案内所の運営、和みわかやまキャンペーンとの連携等	日本遺産活用推進協議会との連携、関西国際空港内観光案内所の運営等

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		4,464	4,426	4,272	4,250	3,942	3,703	3,201	0	0	0
伸び率（%）		△9%	0%	△4.3%	△4%	△7.7%	△12.9%	△18.8%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	2,884	3,039	3,120	3,432	3,503	3,901	4,060	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2,884	3,039	3,120	3,432	3,503	3,901	4,060	0	0	0
国庫支出金		2,190	1,791	2,109	2,060	1,917	1,657	1,232	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		2,274	2,635	2,163	2,190	2,025	2,046	1,969	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.37	0.39	0.40	0.44	0.44	0.49	0.51	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		各種会議負担金１，７６５千円　観光事業負担金２，００６千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	県外向けイベント（大阪アトリウム広場イベント等）パンフレット配布数	枚	目標値	500	500	500	500	
			実績値	0	0	5,700		
			達成度(%)	0%	0%	1140%	%	%
	関西国際空港内案内所へのパンフレット配布	枚	目標値	16,000	16,000	16,000	16,000	
			実績値	4,000	6,571	10,890		
			達成度(%)	25%	41.1%	68.1%	%	%
成果指標	年間観光客数（暦年）	千人	目標値	7,120	7,150	7,180	7,210	
			実績値	6,279	6,152	6,524		
			達成度(%)	88.2%	86.1%	90.8%	%	%
	外国人宿泊客数（暦年）	人	目標値	130,202	131,945	133,688	135,431	
			実績値	74,110	95,158	144,106		
			達成度(%)	56.9%	72.2%	107.8%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実			○	
現状維持				
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	観光ゲートウェイ化の実現に向け、日本遺産活用推進協議会や関西国際空港内広域観光案内推進協議会などと連携することにより、広域的な連携体制を強化したプロモーションを展開する。単なる通過点にとどまらないようにするため、来訪者の滞在時間の増加、国内外の観光客数増加とともに、観光消費の増進を推進していく必要がある。
見直し・改善内容	令和７年の市内宿泊者数は大阪・関西万博の効果などにより過去最高を記録した。令和８年は大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放映を契機とした誘客を促進するため、関連自治体と連携するとともに、各協議会において、より効果的な広域連携ができるよう取り組んでいくとともに、周辺自治体や交通事業者、各種団体などと積極的に連携を図っていく。

事務事業チェックシート

事務事業No　106　　事業名　**観光イベント事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	4	観光の稼ぐ力の強化
施　策	2	観光客の誘致
取組方針	3	多様な誘致活動の展開

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	観光イベント事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	観光課	坂東　伸哉	435-1234
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	和歌山市において様々なイベントを展開し、県内外からの観光客誘致を図る。 またイベントにおいては、市民間で価値観を共有するためのコンセプトやテーマを設定するなど、若い世代にも浸透する仕掛けを施す。	和歌山市において様々なイベントを展開し、県内外からの観光客誘致を図ることに加え、市民の郷土愛醸成を目指す。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	紀州おどりの開催、和歌祭の開催	紀州おどりの開催、和歌祭の開催	紀州おどりの開催、和歌祭の開催	紀州おどりの開催、和歌祭の開催	紀州おどりの開催、和歌祭の開催

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		19,134	18,630	15,217	14,830	16,669	16,411	16,669	0	0	0
伸び率（%）		△22.1%	0.4%	△20.5%	△20.4%	9.5%	10.7%	0%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	14,416	15,117	15,441	17,234	17,592	19,502	20,298	0	0	0
	正規職員以外	1,449	1,449	1,477	0	0	0	0	0	0	0
	小計	15,865	16,566	16,918	17,234	17,592	19,502	20,298	0	0	0
国庫支出金		9,567	9,315	2,658	2,658	3,385	3,384	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		9,567	9,315	12,559	12,172	13,284	13,027	16,669	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	1.85	1.94	1.98	2.21	2.21	2.45	2.55	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.29	0.29	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		紀州おどり開催交付金　９，９００千円　和歌祭開催交付金　６，７６９千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	イベント開催数	件	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	1	2	2		
			達成度(%)	50%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	観客動員数	人	目標値	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
			実績値	50,000	80,000	87,000		
			達成度(%)	25%	60%	43.5%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	コスト投入の方向性			
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
充実			○	
現状維持				
縮小				
廃止				

担当課評価の根拠	祭りを次世代に継承する取組は一定の効果が見られるが、観光客を含む多様な属性の人々が参加し、楽しめる環境づくりに向けた更なる工夫が必要である。
見直し・改善内容	イベントを契機とした更なる観光需要の喚起を図る方策を検討し、宿泊や周遊につなげていく。

事務事業チェックシート

事務事業No	事業名
559	ロケ誘致事業

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	4	観光の稼ぐ力の強化
施　策	2	観光客の誘致
取組方針	3	多様な誘致活動の展開

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	ロケ誘致事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	観光課	坂東　伸哉	435-1234
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	映画・ドラマ等の映像を通して本市の認知度向上やイメージアップを図り、観光誘客に努める。	映画・ドラマ等のロケの誘致活動や、本市で行われるロケに対する支援活動を充実させることにより観光振興を図る。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	映画・ドラマ等のロケ撮影に対する情報提供、エキストラの手配、撮影の同行、和歌山市ロケ地情報の作成	映画・ドラマ等のロケ撮影に対する情報提供、エキストラの手配、撮影の同行、和歌山市ロケ地情報の作成	映画・ドラマ等のロケ撮影に対する情報提供、エキストラの手配、撮影の同行	映画・ドラマ等のロケ撮影に対する情報提供、エキストラの手配、撮影の同行、和歌山市ロケ地情報の作成	映画・ドラマ等のロケ撮影に対する情報提供、エキストラの手配、撮影の同行

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伸び率（%）		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人件費	正規職員	10,052	11,844	10,840	12,087	12,338	13,612	14,249	0	0	0
	正規職員以外	0	500	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	10,052	12,344	10,840	12,087	12,338	13,612	14,249	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	1.29	1.52	1.39	1.55	1.55	1.71	1.79	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳											

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	ロケ相談件数	件	目標値	50	50	50	50	
			実績値	25	19	19		
			達成度(%)	50%	38%	38%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	ロケ実施件数	件	目標値	50	50	50	50	
			実績値	25	15	13		
			達成度(%)	50%	30%	26%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	ＴＶ番組、映画・ドラマなどの撮影に対する誘致、支援活動を充実させることで、メディアに露出する機会を増加、本市の観光資源の魅力をアピールすることができるが、支援内容が多種多様かつ長時間にわたることも少なくないことから、支援範囲の整理が必要である。
見直し・改善内容	あらかじめ支援範囲と対応可能な内容をリスト化し共有するとともに、申請業務やロケ地データベースの整理を行い、市として継続した支援ができるよう体制を整える。

事務事業チェックシート

事務事業No　845　　事業名　観光支援事業

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	4	観光の稼ぐ力の強化
施　策	2	観光客の誘致
取組方針	3	多様な誘致活動の展開

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	観光支援事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	観光課	坂東　伸哉	435-1234
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	観光振興に寄与する団体に支援を行い、市外（県外）からの観光客誘致を図る。	市内各地域の観光協会や、観光振興に寄与する団体に支援を行う。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	紀三井寺さくら祭り・加太観光協会・磯の浦観光協会・片男波海水浴場管理運営事業等への補助	紀三井寺さくら祭り・加太観光協会・磯の浦観光協会・片男波海水浴場管理運営事業等への補助	紀三井寺さくら祭り・加太観光協会・磯の浦観光協会・片男波海水浴場管理運営事業等への補助	紀三井寺さくら祭り・加太観光協会・磯の浦観光協会・片男波海水浴場管理運営事業等への補助	紀三井寺さくら祭り・加太観光協会・磯の浦観光協会・片男波海水浴場管理運営事業等への補助

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		15,982	15,435	18,581	18,172	20,045	18,495	20,045	0	0	0
伸び率（%）		△3.8%	△3.7%	16.3%	17.7%	7.9%	1.8%	0%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	5,767	6,000	6,161	6,863	7,005	7,801	8,120	0	0	0
	正規職員以外	1,449	1,449	1,477	0	0	0	0	0	0	0
	小計	7,216	7,449	7,638	6,863	7,005	7,801	8,120	0	0	0
国庫支出金		514	515	2,087	2,014	2,819	2,285	2,305	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		8,136	0	8,136	2,723	8,136	6,065	8,649	0	0	0
一般財源（税等）		7,332	14,920	8,358	13,435	9,090	10,145	9,091	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.74	0.77	0.79	0.88	0.88	0.98	1.02	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.29	0.29	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		片男波海水浴場管理運営交付金１１，４００千円、観光地保全管理事業補助金　２，８８８千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	支援件数	件	目標値	7	7	7	7	
			実績値	6	8	9		
			達成度(%)	85%	115%	129%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	観客動員数	人	目標値	18,000	18,000	18,000	18,000	
			実績値	80,000	80,000	80,000		
			達成度(%)	444%	444%	444%	%	%
	片男波海水浴場利用者数	人	目標値	250,000	250,000	250,000	250,000	
			実績値	147,781	146,160	171,490		
			達成度(%)	59.1%	58.5%	68.6%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実			○	
現状維持				
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性			

担当課評価の根拠	地域の観光協会や観光関連団体等との協働により、地域主体で魅力的な観光地づくりが進み、誘客効果の向上にもつながった。また、地域事業者に対しては、「稼げる観光コンテンツ創出支援補助金」を活用し、継続的な観光コンテンツの提供を促すことで、観光客数の増加や観光消費額の拡大に努めた。
見直し・改善内容	新規コンテンツの造成とともに、既存のコンテンツとの組合せなども視野に入れつつ、効果的な支援のあり方について今後検討していく。 また、稼げる観光コンテンツ創出支援事業については、引き続き、新規事業創出への支援を行うとともに、事業者がより活用しやすい補助金となるよう、制度等の見直しを進めるとともに、すでに採択された事業については、事業者が自走化し、継続的に事業を展開できるよう、広報の支援などを引きつづき行っていく。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

863　**コンベンション推進事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	4	観光の稼ぐ力の強化
施　策	2	観光客の誘致
取組方針	3	多様な誘致活動の展開

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	コンベンション推進事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	観光課	坂東　伸哉	435-1234
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)	全体事業概要
事業目的	コンベンション参加者の宿泊増加を図り、観光リピーターの創出を図る。	「学会」「会議」「各種大会」「見本市」等の催しに参加し、和歌山市内で宿泊する参加者の延べ人数５１人以上のコンベンション主催者に対し補助する。

	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
事業内容	コンベンション主催者への補助、補助制度のＰＲ	コンベンション主催者への補助、補助制度のＰＲ	コンベンション主催者への補助、補助制度のＰＲ及び参加者の市内消費促進	コンベンション主催者への補助、補助制度のＰＲ及び参加者の市内消費促進	コンベンション主催者への補助、補助制度のＰＲ及び参加者の市内消費促進

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		23,476	23,664	23,279	22,142	38,192	31,454	35,016	0	35,016	0
伸び率（%）		18.6%	57.3%	△0.8%	△6.4%	64.1%	42.1%	△8.3%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	11,533	12,078	12,399	13,803	14,090	15,602	16,239	0	0	0
	正規職員以外	227	227	227	137	0	0	634	0	0	0
	小計	11,760	12,305	12,626	13,940	14,090	15,602	16,873	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	1,053	777	895	0	895	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		23,476	23,664	23,279	22,142	37,139	30,677	34,121	0	34,121	0
所要人数（人）	正規職員	1.48	1.55	1.59	1.77	1.77	1.96	2.04	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.10	0.10	0.10	0.06	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		和歌山市コンベンション事業推進補助金　24,875千円、消費促進補助金　11,100千円など									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	大会開催回数	件	目標値	80	80	40	40	40
			実績値	65	61	35		
			達成度(%)	81%	76%	88%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	宿泊者数	人	目標値	24,800	24,800	28,700	28,700	
			実績値	28,683	30954	24,757		
			達成度(%)	115.6%	125%	86.3%	%	%
	大会参加者数	人	目標値	37,200	37,200	31,100	31,100	
			実績値	36,652	31880	36,818		
			達成度(%)	98.5%	85.7%	118.4%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	和歌山市でコンベンションが開催されることによって、市内宿泊者等が増加することに加え、本市の知名度・リピート率の向上につながり、民間事業者への経済効果が期待できるため、令和7年度からはコンベンション参加者にクーポン券を配布するなど、さらに市内消費を促進させる取組を行う。また、引き続き学会を中心に、コンベンションの誘致を行い、効果的な開催支援に取り組んでいく。
見直し・改善内容	大会主催者・参加者の満足度を向上させつつ、「IME」等の商談会で旅行会社や開催団体へのPRを図るなど、和歌山市での大会等開催について戦略的に誘致を進めていく。引き続き市内消費促進の施策についても効果検証及び改善を図る。

事務事業チェックシート

事務事業No　13733　　事業名　**クルーズ船誘致事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	4	観光の稼ぐ力の強化
施　策	2	観光客の誘致
取組方針	3	多様な誘致活動の展開

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	クルーズ船誘致事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	観光課	坂東　伸哉	435-1234
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	和歌山港にクルーズ船を誘致することにより、観光客増加を図るとともに、クルーズ船寄港に伴う経済効果を生み出す。	クルーズ船が寄港した際のおもてなしを行うとともに、寄港地での観光消費額を向上させる施策に取り組む。また、クルーズ船寄港を目指した誘致活動を行う。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	クルーズ船が寄港した際のおもてなしを行うとともに、誘致活動を行う。	クルーズ船が寄港した際のおもてなしを行うとともに、誘致活動を行う。	クルーズ船が寄港した際のおもてなしを行うとともに、誘致活動を行う。	クルーズ船が寄港した際のおもてなしを行うとともに、誘致活動を行う。	クルーズ船が寄港した際のおもてなしを行うとともに、誘致活動を行う。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		5,443	5,443	1,986	1,986	8,118	8,118	4,983	0	0	0
伸び率（%）		△1.2%	203.4%	△63.5%	△63.5%	308.8%	308.8%	△38.6%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	7,169	7,559	7,721	8,578	8,756	9,712	10,189	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	51	0	0	0	0
	小計	7,169	7,559	7,721	8,578	8,756	9,763	10,189	0	0	0
国庫支出金		2,698	2,698	849	849	3,659	3,795	2,491	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		2,745	2,745	1,137	1,137	4,459	4,323	2,492	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.92	0.97	0.99	1.10	1.10	1.22	1.28	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		観光事業負担金　８，１１８千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	クルーズ船寄港数	隻	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	7	4	18		
			達成度(%)	233.3%	133.3%	633.3%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	年間観光客数（暦年）	千人	目標値	7,120	7,150	7,180	7,210	7240
			実績値	6,279	6,152	21,917		
			達成度(%)	88.2%	86.1%	305.2%	%	%
	観光消費額	千円	目標値	51,601,503	52,024,626	52,447,754	52,870,881	53,294,008
			実績値	46,606,398	46,497,752	49,737,385		
			達成度(%)	90.3%	89.3%	94.8%	%	%
	直接経済効果（物産・交通関係の消費額）	千円	目標値	900	900	900	900	900
			実績値	1,150	1,377	37,150		
			達成度(%)	127.8%	153.0%	4127.7%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
充実					○
現状維持					
縮小					
廃止					
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大	
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	今後もクルーズ船の和歌山港への寄港が予定されており、市内事業者やDMOと連携し、市内での消費額の増加に取り組んでいく。
見直し・改善内容	クルーズ船の寄港時には、県や観光事業者と連携し、市内観光消費額向上に取り組むとともに、クルーズ専用パンフレットを作成することにより、市内観光消費額の向上に取り組む。

事務事業チェックシート

事務事業No　387　　事業名　**観光誘客対策事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	4	観光の稼ぐ力の強化
施　策	2	観光客の誘致
取組方針	4	観光客消費喚起の仕組みづくり

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	観光誘客対策事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	観光課	坂東　伸哉	435-1234
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	観光客に和歌山市の魅力を伝え、京阪神や関空から近い観光地「和歌山市」をアピールする。	集客力のあるイベントの実施や、国内外からの観光客誘致のための施策を行う。また、和歌山市観光協会を「稼ぐ」観光の中核組織と位置付け、官民一体となって、マーケティングによる戦略を基に観光資源の磨き上げやプロモーションの強化を図る。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	○竹燈夜・市民茶会の開催 ○和歌山市観光客実態調査の実施 ○国内外プロモーション等誘客事業の実施 ○和歌山市観光協会への補助 ○温泉ＰＲ事業の実施 ○サマータイムレンダ関連事業の実施	和歌山市観光客実態調査の実施、国内外プロモーション等誘客事業の実施	和歌山市観光客実態調査の実施、国内外プロモーション等誘客事業の実施	和歌山市観光客実態調査の実施、国内外プロモーション等誘客事業の実施	和歌山市観光客実態調査の実施、国内外プロモーション等誘客事業の実施

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		34,403	63,842	24,635	31,108	58,187	67,151	34,742	0	0	0
伸び率（%）		△26.8%	△48.7%	△28.4%	△51.3%	136.2%	115.9%	△40.3%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	33,116	34,675	35,559	39,614	40,437	44,736	50,785	0	0	0
	正規職員以外	2,198	2,198	2,226	3,650	0	330	0	0	0	0
	小計	35,314	36,873	37,785	43,264	40,437	45,066	50,785	0	0	0
国庫支出金		12,079	11,956	7,385	10,592	17,876	23,351	10,677	0	0	0
県支出金		0	0	0	211	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	14	14	15	925	0	0	0	0
一般財源（税等）		22,324	51,886	17,236	20,291	40,296	42,875	24,065	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	4.25	4.45	4.56	5.08	5.08	5.62	6.38	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.62	0.62	0.62	1.61	0.00	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		観光協会事業補助金３４，５４９千円、観光協会運営補助金７，９４７千円、和歌山市温泉宣伝事業交付金４，０００千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	雑誌等掲載	件	目標値	45	45	45	45	
			実績値	18	18	18		
			達成度(%)	40%	40%	40%	%	%
	旅行エージェント等との商談回数	回	目標値	60	80	80	80	
			実績値	71	42	66		
			達成度(%)	118.3%	52.5%	82.5%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	年間宿泊者数（暦年）	万人	目標値	107	108	109	111	
			実績値	99	101	109		
			達成度(%)	92.5%	93.5%	100%	%	%
	年間観光客数（暦年）	千人	目標値	7,120	7,150	7,180	7,210	
			実績値	6,279	6,152	6,524		
			達成度(%)	88.2%	86.1%	90.9%	%	%
	観光消費額	千円	目標値	51,601,503	52,024,626	52,447,754	52,870,881	
			実績値	46,606,398	46,497,752	49,737,385		
			達成度(%)	90.3%	89.4%	94.8%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				○
現状維持				
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	観光客がコロナ禍以前のレベルに回復していることに加え、今後さらにインバウンドを中心とした観光客の増加が見込まれるため、本市が観光地として選択されるよう、国内外へのプロモーション活動等の誘客施策をより一層強化し、観光消費拡大を目指し、取り組んでいく。
見直し・改善内容	本市ならではのコンテンツ造成を行うとともに、ターゲットを絞った効果的なプロモーションを実施することで、国内外からより多くの誘客を図り、観光消費の拡大につなげていく。令和８年度は、大河ドラマにちなんだスタンプラリーの開催をはじめ、和歌山城を含む市内観光資源の新たな巡り方を提案するなど、誘客につながる施策を展開していく予定としている。